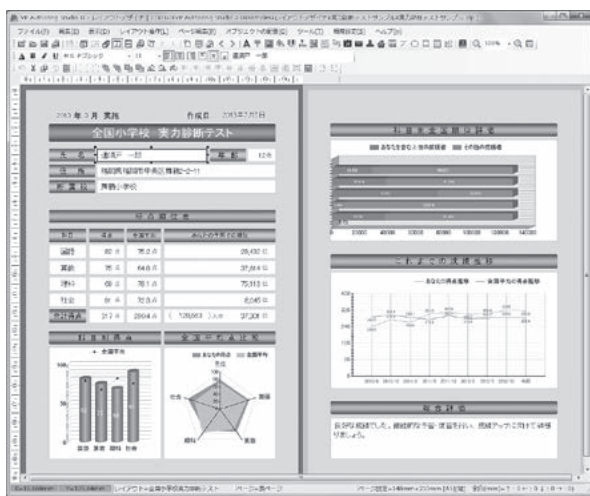




行い書式を設定する。複数のレイアウトページを作成することができ、入力データの条件によりページを切り替えて出力することができる。外字ファイルはプロジェクト別に登録が可能で、PDF出力時に自動ロード、アンロードできる。



#### ・強力なデータ編集機能

バリエブル処理では、宛名などの単純なデータの差し込みだけでなく、年齢や性別、購買履歴などの条件によって印字内容を変化させることもある。こうしたケースに対応するためデータ編集用の設定ツールを用意している。プログラムの知識がない人でも使えるユーザーインターフェイスでデータ編集や条件判定のルールを作成することができる。また、マルチレコード形式の入力データ読み出し方法や引抜き用テーブルの参照など、どのような条件のデータ処理でもこの設定ツールで作成することができる。ユーザー自ら設定してもよいし、同社に構築を委託することもできる。また、PDF出力を行う前に外字の存在チェックや仕様範囲外のデータが含まれていないかなどのチェックルールを構築できるバリデーション機能も備えている。

#### ・豊富なバリエブルチャート

バリエブルチャートについては、円グラフや棒グラフ、レーダーチャートなど各種の2Dグラフ、立体的に見せることができる3Dグラフにも対応している。バリエブルチャートではデータの値範囲によって軸の単

位を変更するなどの処理が必要となるが、実務における過去の経験からこうしたことにも対応している。

#### ・印字情報をデータベース化

PDF出力と同時に印字情報はデータベースファイル(VMF: Variable Meta File)へ格納される。専用ツールでこのデータベースファイルにアクセスすることができる。外字が抜けていないかどうか、連番がきちんと振られているかといったことをチェックできる。検索条件を入力して検索された結果のPDFページへ連番バーコードを加工印字することなどもできる。また、このソフトにはPDFからテキスト情報を抽出する機能があり、昨今増えてきたPDF入稿への加工印字用のデータを入稿されたPDFから作り出すことができる。

### バリエブル印刷に特化したソフトウェア群

VP Authoring Studio IIは、さまざまな機能のソフトウェアの集合体である。オープン系データ以外に、各ホスト系データ、プリンターメーカー固有のデータ形式なども扱うことができる。一連のソフトウェアの中にはページ面付けの機能もあり、レイアウト編集、条件定義、エラーチェックから面付け処理、ホストデータ処理までバリエブル印刷全般をトータルでサポートする統合環境ソフトウェアである。

### バリエブル印刷の普及拡大のカギとは

今後、商業印刷分野でのバリエブル印刷の普及には企画力が重要である。印刷会社がバリエブル印刷を提案してもお客様がその気にならなければ形にならない。お客様をその気にさせるクリエイティブが必要となる。ある健康食品会社では、会員向けにパーソナライズされたカレンダーを発行している。ブランディングの意味合いもあり、非常にクリエイティブ・品質にこだわり、社内でデザイン企画からコンテンツ制作、印刷、発送業務まで一貫して処理している。今後パーソナライズ印刷の需要が増えていくには、このようなノウハウを印刷会社自ら保有する必要があるだろう。

(研究調査部 花房 賢)